

# 男女共同参画の視点での防災

長期の避難所生活を送ることになった時、避難者がお互いに理解し助け合いながら困難な環境を乗り切る必要があります。

特に女性には、女性ならではのデリケートな問題が発生します。女性のみなさんは事前に心構えや準備をしておきましょう。男性のみなさんは女性が抱えることになる問題を理解しておきましょう。

## (特に女性は) こんなことがストレスになるかも・・・

- 避難所に安心して着替えができるスペースがない。
- お風呂になかなか入れない。洗顔ができない。
- お化粧ができない。
- 生理用品が手に入らない。
- 避難所で炊き出し担当、掃除担当になる。



## 心構えと準備～女性編～

- 素顔を出さないで済むようにマスクを準備しておきましょう。
- 顔を含め全身に使用できるウェットティッシュ等を備えておきましょう。
- 生理用品は多めに備蓄（持ち歩き）しましょう。



## 心構えと準備～男性編～

- 化粧をしないことは、洋服を着られないことと同じ気持ちになる人もいます。
- 非常時であっても男性から女性用品を受け取ることに抵抗がある女性もいます。
- 料理や掃除が得意でない女性もいます。

## 心構えと準備～男女共同参画編～

- 避難所運営には女性も男性も積極的に参加しましょう。
  - ◇ 物資の配布や相談等で、同性の避難者のケアができます。
  - ◇ 女性がパトロール（見まわり）で巡回することで安心できる人もいます。
  - ◇ 各人の得意なことを集結させることでチームワークがよくなります。
- 避難所での活動は、普段以上に気力と体力が必要になることを理解しましょう。
  - ◇ 男性であっても、誰でもが長期に渡ってパワフルに活動することはできません。
  - ◇ 活動的な人や若い人でも、避難生活が長期化すると体調を崩すことがあります。
  - ◇ 簡単な作業であっても、家庭での作業とは規模が桁違いに異なります。



**非常時は通常時に比べ、犯罪が3倍になると言われています。十分に注意しましょう！**

## ～東日本大震災での様々な事例～

- 会社から自宅へ夜道を長々と歩いた。肉体的にも精神的にも疲れてしまい、知らない男性が不審に思えてきてしまい、ハイヒールだったこともあり走って逃げる事ができず、常に不安を抱えていた。
- 都内で被災し電車が止まっていた時、何人もの見知らぬ男性が声をかけてきて、ナンパの嵐がとても怖かった。
- ライフラインの停止に伴い、業者が各家庭を訪問して復旧作業を行うが、不審人物もいた。非常時とはいえ、無防備に自宅へ入ってしまうと危険。

